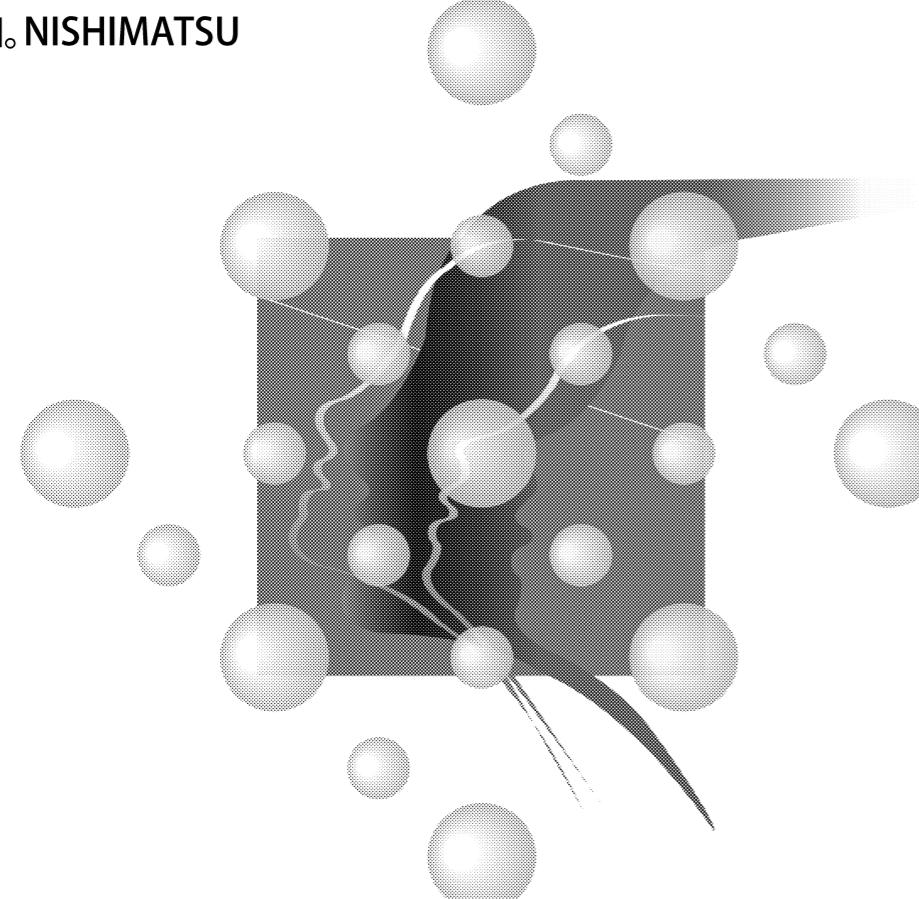


自然との調和。NISHIMATSU



自然と人との架け橋。私たちは快適な空間を創造します。

自然と人との共生。快適な空間の創造。

これこそ人類全てが目標に掲げ、次世代に受け継がなければ
ならないテーマです。私たち西松建設は、この精神を忘れず、
これからも自然と技術が融合する環境づくりを目指します。



西松建設

〒105-8401 東京都港区虎ノ門1丁目20番10号
電話 03(3502)0232
<http://www.nishimatsu.co.jp/>

防災のトビシマ 建ててから始まる真のお付き合い

防災のトビシマ

豊富な経験と技術力を生かし、
安全で安心な社会づくりに貢献します。



飛島建設

本社／神奈川県川崎市高津区坂戸三丁目2番1号
〒213-0012 TEL.044(829)6750
<http://www.tobishima.co.jp>

生徒は約70kgの装備を身に付けて
校内のプールで潜水技術を学ぶ

伝統を紡ぐ教育 南部もぐり

青森県の十和田湖にた
たずむ十和田神社は、数
百年にわたって参拝者が
神社再建の資金にしようと
した。そこで、さい錢
の引き揚げを潜水夫に依
頼したが、聖地とされて
いる湖であり、神のたた
りを畏れて誰も受けよう

南部もぐりの活躍

た小太郎は定吉に潛りの
才能を見いだし、ヘルメ
ット式の潜水技術を伝え
いた。ここに「南部もぐ
り」が誕生したのであ
る。

専門教育の内容

当時の潜水士は、潜水
病（減圧症）という職業
病に苦しめられていた。
徒弟制度により技術を身
に付け、正確な知識がな
く、潜水病にかかる者も多
く、潜水病の養成およ
び身分保障の制度化や潜
水病に対する理解を深め
ることを目的に、195
年、南部潜水協会が発
足。科学的・学問的な潜
水教育の必要性を協会が
中心となり訴え、同年12
月には種市潜水学校が開
校したのである。その
変遷を経て現在の岩

南部もぐりの概要
1898年6月、濃霧
の中、汽笛が鳴り響く。
沈没した名護屋丸を
解体、引き揚げするため
に、座礁沈没したのであ
る。沈没した名護屋丸を
解体、引き揚げするため
に、汽笛が鳴り響く。
岩手県洋野町種市沖で函
館から横浜に向かってい
た貨物船名護屋丸が、こ
の地特有の濃霧「ヤマ
セ」により進路を見失
い、座礁沈没したのであ
る。沈没した名護屋丸を
解体、引き揚げするため
に、汽笛が鳴り響く。
岩手県洋野町種市沖で函
館から横浜に向かってい
た貨物船名護屋丸が、こ
の地特有の濃霧「ヤマ
セ」により進路を見失
い、座礁沈没したのであ
る。沈没した名護屋丸を
解体、引き揚げするため
に、汽笛が鳴り響く。
岩手県洋野町種市沖で函
館から横浜に向かってい
た貨物船名護屋丸が、こ
の地特有の濃霧「ヤマ
セ」により進路を見失
い、座礁沈没したのであ
る。沈没した名護屋丸を
解体、引き揚げするため
に、汽笛が鳴り響く。

地元の青年、磯崎定吉が
定吉の仕事の様子を見
た小太郎は定吉に潜りの
才能を見いだし、ヘルメ
ット式の潜水技術を伝え
いた。ここに「南部もぐ
り」が誕生したのであ
る。

南部もぐりの潜水士はそ
の仕事に誇りを持ち、実
際で丁寧な仕事で信頼を
築いてきた。

専門教育の課題

潜水は、活躍の場がこく
地、海外で活躍してい
る。

生と3年生は週に6時間

木系工業科目を学び、1

年生は週に3時間、2年

生徒は語学、数学などの

測量、土木施工などの土

木系工業科目を学ぶ。

潜水は、活躍の場がこく
地、海外で活躍してい
る。

生徒は語学、数学などの

測量、土木施工などの土

木系工業科目を学ぶ。

潜水は、活躍の場がこく
地、海外で活躍